

ASIAN
2&4
RACE
SUZUKA 2013

2013 ASIAN 2&4 RACE

8/31 予選 SAT. 9/1 決勝 SUN.

日本初！アジアの2輪・4輪レースを同時開催！ 熱気あふれるアジアのレースが鈴鹿サーキットに上陸

鈴鹿サーキットは、2013年8月31日（土）、9月1日（日）に「アジアン2&4レース」として、1996年からアジアの国々を中心に開催されている「PETRONASアジアロードレース選手権シリーズ」と、2006年から開催されている韓国の4輪トップレース「CJハロービジョン スーパーレース チャンピオンシップ」を開催いたします。2輪、4輪のアジアレース同時開催は日本で初となります。

アジアロードレースは国内3メーカーのHonda、カワサキ、ヤマハが力を入れるアジアでの覇を争うレースシリーズです。ライダーはアジア各国からエントリーがあり、この戦いで勝ち抜き世界を目指す事を目的としているため、熱気に満ちあふれています。そして、スーパーレースは韓国で最も権威があり、排気量6200ccのハイパワーマシン「スーパー6000」と、韓流スター、リュ・シウォンらが参戦する「GTクラス」の2クラスで争われ、迫力のレースが魅力です。また、それぞれのレースを取材するメディアがアジア各国から鈴鹿に訪れるなど、高い注目が集まっています。



PETRONASアジアロードレース選手権シリーズ



CJハロービジョン スーパーレース チャンピオンシップ

アジアから鈴鹿へ、鈴鹿からアジアへ これまでにないアジア内でのモータースポーツ交流が新たに始まる

鈴鹿サーキットは今年3月、台湾・高雄市の大魯閣株式会社とカートコースなどアミューズメント施設へのコンサルティング業務で合意し、台湾におけるモビリティ事業をスタートさせました。モビリティが持つ楽しさをアジアに向けて発信する大きな一歩となり、台湾をはじめアジア各国からの注目を集めることとなりました。

今年、アジアで注目のレースを初開催することで、さらに鈴鹿サーキットの認知を拡大し、広くアジアにアピールしてまいります。

このたび「アジアン2&4レース」では、アジアロードレース、スーパーレースを合わせて12か国から83名もの選手が参戦します。さらには500名を超えるレース関係者、報道陣の来日が予定されており、アジアを中心としたレースでは、これまでにない規模での開催となり、アジア内でのモータースポーツ交流が新たに始まります。

アジアロードレース

Honda、ヤマハ、カワサキの600ccバイクで争う「スーパースポーツ600cc(SS600)」、世界選手権Moto3クラスへのステップアップを目指すアジア各国のライダーが集う国別対抗戦「アジアドリームカップ(ADC)」、フレームが車体下側に配置された独特な形状をしたマシンで争われる「アンダーボーン115cc(UB115)」の3カテゴリーが開催されます。

クラス	内容
SS600	エンジンは600cc以下 Honda、ヤマハ、カワサキが参戦
ADC	Honda CBR250Rのワンメイク 国別対抗戦
UB115	エンジンは115cc以下 フレームが車体下側に配置された独特な形状

スーパースポーツ600cc(SS600)

Honda、ヤマハ、カワサキのバイクが参戦し、ライダーも日本、マレーシア、インドネシア、タイ、オーストラリア、インドなどから参戦しています。これまで浜口俊之選手が6度の王者に輝き、藤原克昭選手、清成龍一選手もチャンピオンを獲得するなど、モータースポーツ先進国である日本勢が圧倒的な強さを見せて来ました。

しかし、今シーズンはマレーシアのアズラン・シャー・カマルザマン(Honda)がここまでの6戦で2勝、2位4回と全レースで表彰台に立つ完璧な内容でランク首位を独走。このアズランの独走に対して、鈴鹿を得意とする玉田誠(Honda)、藤原克明(カワサキ)、そしてワイルドカードの6名を加えた16名の日本人勢の活躍に注目が集まります。



エントリーリスト (30台)

No.	名前	メーカー	国
9	Makoto Inagaki 稲垣 誠	Yamaha	日本
16	Hirofumi Kunikida*** 國川 浩道	Honda	日本
20	Dimas Ekky Pratama*** ディマス・エキー・プラタマ	Honda	インドネシア
21	Md Zaqwan Zaidi ザクワン・ザイディ	Honda	マレーシア
23	Hazlanshah Md Noor ハズランシャー・ノア	Kawasaki	マレーシア
24	Peerawat Wongthanananon ピーラワット・ウオングターナノン	Honda	タイ
25	Azlan Shah Kamaruzaman アズラン・シャー・カマルザマン	Honda	マレーシア
26	Ahmad Fuad Baharudin アハムド・ファド・バハルディン	Kawasaki	マレーシア
33	H A Yudhistira ユディストリア	Kawasaki	インドネシア
34	Satoru Iwata 岩田 悟	Honda	日本
37	Katsuaki Fujiwara 藤原 克昭	Kawasaki	日本
38	Shinichi Nakatomi*** 中富 伸一	Yamaha	日本
50	Mitsunori Okamura 岡村 光矩	Kawasaki	日本
51	Ryosuke Katahira 片平 亮輔	Kawasaki	日本
52	Md Zamri Baba ザムリ・ババ	Yamaha	マレーシア
55	Sadahito Suma*** 須磨 貞仁	Suzuki	日本
57	Tatsuro Saito*** 齋藤 達郎	Yamaha	日本
59	Rattthapong Wilairot ラタポン・ウィライロー	Honda	タイ
71	Tomoyoshi Koyama 小山 知良	Honda	日本
76	Yuki Ito 伊藤 勇樹	Yamaha	日本
77	Yasuhiro Usami*** 宇佐見 保弘	Yamaha	日本
78	Michael Blair マイケル・ブレア	Yamaha	オーストラリア
82	Ayumu Tanaka* 田中 歩	Yamaha	日本
83	Yoshitaka Miyajima*** 宮嶋 佳毅	Honda	日本
91	Jakkrit Swangswat* ヤッキリト・スワングスワト	Honda	タイ
93	Md Farid Badrul Hisham ファリド・バドラル・ヒシャム	Yamaha	マレーシア
99	Md Ramdan Rosli ラムダン・ロスリ	Yamaha	マレーシア
100	Makoto Tamada 玉田 誠	Honda	日本
162	M. Fadli Imammuddin ファドリ・イマムディン	Kawasaki	インドネシア
634	Ryuta Kobayashi 小林 龍太	Honda	日本

*** = ワイルドカード

* = ライダー交代

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

アジアドリームカップ(ADC)

Honda CBR250RRのワンメイクで開催されるこのクラスは、明確なステップアップ制度が整えられています。日本国内では全国15ヶ所のサーキットで開催されるCBR250Rカップ。各シリーズの上位ライダーは、12月に国内の「グランドチャンピオン大会」に参戦。ここで代表に選ばされると、この「アジアドリームカップ」に参戦できます。

アジアドリームカップは各国から代表で選ばれたライダーによる国別対抗戦として開催され、その中で優秀な成績を収めると、世界選手権Moto3クラスへのスポット参戦の可能性を与えられるため、世界での活躍を目指す、多くの若いライダーが参戦しています。

スタートからゴールまで接戦が続く若手ライダー中心のこのレースでは、日本人ライダー尾野弘樹がランキングトップを独走。地元鈴鹿ではもちろん優勝候補として注目が集まっています。



エントリーリスト (19台)

No.	名前	メーカー	国
1	Hiroki Ono 尾野弘樹	Honda	日本
2	Nakarin Atiratphuvapat ナカリン・アティラプババト	Honda	タイ
3	Md Dwi Satria ドウィ・サトリア	Honda	インドネシア
4	Kanatat Jaiman カナタット・ジェイマン	Honda	タイ
6	Chuang An-Yu チュアン・アンユー	Honda	台湾
7	Chen Yuan Hang チェン・ユエン・ハン	Honda	中国
8	Reitoku Kurogi 黒木玲徳	Honda	日本
9	Md Jazil Juraimi ジャジル・ジュライミ	Honda	シンガポール
10	Khairul Idham Pawi カイルール・イダム・パウイ	Honda	マレーシア
11	Gerry Salim ジェリー・サリム	Honda	インドネシア
12	Sumit Loucs Toppo スミト・ルークス・トッポ	Honda	インド
13	Zhou Sheng Jun Jie ツー・シェン・ジュン・ジー	Honda	中国
14	Arunagiri Prabhu アルナギリ・ブラブ	Honda	インド
15	Ned Ernest Daniel ネッド・アーネスト・ダニエル	Honda	スリランカ
16	Md Fitri Ashraf Razali フィティリ・アシュラフ・ラザリ	Honda	マレーシア
17	Garry Jr Agustin Caneda ギャリー・アグスティン・カネダ	Honda	フィリピン
18	Nicholas Aaron Waters ニコラス・アロン・ウォーターズ	Honda	オーストラリア
19	Muklada Sarapuech ムクラダ・サラブク	Honda	タイ
20	Sarath Kumar Shankar サラス・クマ	Honda	インド

アンダーボーン115cc(UB115)

アンダーボーンはスクーターのようにフレームが車体下側に配置された独特な形状をしています。Honda、ヤマハ、カワサキの115ccマシンが参戦し、東南アジアでは大きな人気を誇っています。その接近戦と激しいアクションが魅力で、日本のファンの間でも人気が高まっている注目のクラスです。



エントリーリスト (15台)

No.	名前	メーカー	国
12	Hadi Wijaya ハディ・ウイジャヤ	Yamaha	インドネシア
15	Md. Rozaiman Said ローザイマン・セイド	Honda	マレーシア
17	Mohd Hafieenaz Mohd Ali ハフィナッツ・アリ	Yamaha	マレーシア
18	Md. Adib Rosley アディブ・ロスリー	Yamaha	マレーシア
19	Norizman Ismail ノリズマン・イスマイル	Honda	マレーシア
23	Gupita Kresna Wardhana グピタ・クレスナ・ワードハナ	Kawasaki	インドネシア
27	Harlan Fadhillah ハーラン・ファディラ	Yamaha	インドネシア
36	Md. Affendi Rosli* アフエンディ・ロスリ	Honda	マレーシア
38	Kazuki Masaki 真崎 一輝	Honda	日本
46	Vorapong Malahuan ウーラポン・マラウン	Honda	タイ
50	Ahmad Afif Amran アフマド・アフイフ・アムラン	Yamaha	マレーシア
57	Hokky Krisdianto ホッキー・クリスティアント	Yamaha	インドネシア
61	Ferlando Herdian フェルナンド・ヘルディア	Yamaha	インドネシア
63	Md Amirul Ariff Musa アミラル・アリフ・ムサ	Honda	マレーシア
118	Tengku Amirul Haffiruddin テンクウ・アミル	Yamaha	マレーシア

スーパーレース

鈴鹿初開催となる韓国のGTカーシリーズ「スーパーレース」は6200ccエンジンによるストックカー「スーパー6000」クラスと、FIAグループA規定に準じた「GT」クラスの混走レース。両クラスとも成績に応じてハンデウェイトが積まれるルールを採用しており、簡単に勝ち続けられないのが特徴です。世界屈指のテクニカルコース鈴鹿サーキットで、韓国のトップドライバー達がこのハイパワーマシンをどのように操るのか。鈴鹿初体験の選手が多いだけに目が離せません。

クラス	内容
スーパー6000	8気筒6200cc、GMのワンメイクエンジン レース専用ストックカーのワンメイク 18インチスリックタイヤ タイヤは自由
GT	エンジンは1600cc～5000cc未満 17,18インチスリックタイヤ ヒュンダイ、シボレーなどが参戦 ハンコックタイヤワンメイク

スーパー6000

メインクラスとなるのがスーパー6000。8気筒6200ccのエンジンからは、最高速度300km/hを超えるほどのパワーが出力されます。

昨年に引き続きチャンピオン争いを繰り広げているファン・ジンウ、キム・ウイス、キム・ドンウンはそれぞれ50kg、60kg、30kgの重りが積まれ、特にアップダウンが激しく、コーナーが連続する鈴鹿では重さのハンディは大きく影響するため、いつものような快走は期待できません。またスポット参戦する加藤寛規も加わり、今年一番の接戦となることでしょう。



GT

FIAグループA規定に準ずるGT車両で行われ、鈴鹿戦にはヒュンダイとシボレーの2メーカー3車種（タイヤはハンコックのワンメイク）が参戦します。

韓流スターで有名なリュ・シウォン、韓国内でタレント活動をしているキム・ジンピョもそのエントリーに名を連ね、リュ・シウォンは現在シリーズランキング3位、キム・ジンピョも5位とその実力にも注目が集まります。



エントリーリスト (SUPER 6000: 9台 / GT: 10台)

Class	NO	Name	Team	Car model	
SUPER 6000	1	KIM EUI SOO	キム・ウイス	CJ RACING	ストックカー
	3	KIM DONG EUN	キム・ドンウン	INJE SPEEDIUM	ストックカー
	5	KATOH HIROKI	加藤 寛規	INJE SPEEDIUM	ストックカー
	7	HWANG JIN WOOK	ファン・ジンウ	VALVOLINE	ストックカー
	12	HWANG JIN WOO	ファン・ジンウ	CJ RACING	ストックカー
	46	YUN SEUNG YONG	ユン・スンヨン	HSD SL Motorsport	ストックカー
	55	KIM SANG IN	キム・サンイン	STAR-AZ	ストックカー
	61	KIM PETER	キム・ピーター	E-Rain	ストックカー
	88	PARK HYUNG IL	パク・ヒュンイル	HSD SL Motorsport	ストックカー
GT	11	LEE JAE WOO	イ・チェウ	CHEVROLET	シボレー クルーズ 2.0T
	21	CHOI HEA MIN	チョイ・ヘミン	CJ RACING	ヒュンダイ ジェネシス クーペ 3.8
	22	KIM JIN PYO	キム・ジンピョ	CHEVROLET	シボレー クルーズ 2.0T
	31	KIM JANG RAE	キム・チャンリェ	SPITZEN MOTORS	ヒュンダイ ジェネシス クーペ 3.8
	37	JANG SOON HO	チャン・スンホ	EXR TEAM106	ヒュンダイ ジェネシス クーペ 2.0T
	53	SONG HYUK JIN	ソン・ヒョジン	CJ RACING	ヒュンダイ ジェネシス クーペ 3.8
	60	CHO YOUNG SEUNG	チョ・ヨンスン	CJ RACING	ヒュンダイ ジェネシス クーペ 3.8
	66	SONG GIL SUP	ソン・キルサブ	SPITZEN MOTORS	ヒュンダイ ジェネシス クーペ 3.8
	72	RYU SI WON	リュ・シウォン	EXR TEAM106	ヒュンダイ ジェネシス クーペ 2.0T
	81	JEOUNG YOUN ILE	チョン・ヨンイル	EXR TEAM106	ヒュンダイ ジェネシス クーペ 2.0T
99	JEUNG KI YONG	チョン・キヨン	SPITZEN MOTORS	ヒュンダイ ジェネシス クーペ 3.8	

加藤寛規がスポット参戦決定！

スーパー6000クラスに加藤寛規の参戦が決定しました。1997年からJGTC(全日本GT選手権)、SUPER GTに参戦し続けるベテランGTドライバーで、F3時代には1998年に全日本選手権2位、マカオGP6位を記録。2002年にはル・マン24時間で総合7位。他にもフォーミュラ・ニッポン、スーパー耐久、FIAスポーツカー選手権に参戦するなど、様々なカテゴリーで活躍している選手です。2013年はエヴァRT初号機アップルMP4-12C(マクラーレンMP4-12C)でSUPER GT GT300クラスに参戦しています。

株式会社 モビリティランド **鈴鹿サーキット**

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

チケット情報

[価格はすべて税込]

2013 ASIAN 2&4 RACEは、ゆうえんち入園料でご覧いただけます

料金(ゆうえんち入園料)		
大人(中学生以上)	小学生	3歳～未就学児
1,600円	800円	600円

オプションチケット

【グリッドウォーク】

スーパーレースグリッドウォーク 決勝レースが始まる前のメインストレート上(グリッド)に入場することができるグリッドウォークを実施いたします。

■開催日時:9月1日(日)12:40～13:00

■販売日時:8月31日(土) 9月1日(日)両日とも7:45～ ※限定先着500枚(お1人様4枚まで)

■販売場所:GPレセプション ■料金:1,000円

※グリッドウォークは9月1日(日)のみ実施されます。パス販売は8月31日で完売した場合、日曜日の販売は行いません。

【ホスピタリティラウンジ入場券】

ホームストレートをはさんでグランドスタンドの向かいに位置するホスピタリティラウンジは、エアコンやモニターが完備され、レースを快適に観戦できるスペースです。また、ピットの真上にせり出したテラスからは最も近い位置からコースを見ることができ、迫力のスタートシーンを間近で見ることができます。

■場 所:ピットビル2階 ホスピタリティラウンジ

■日 程:8月31日(土)・9月1日(日)

■販売日時:8月31日(土) 9月1日(日)両日とも7:45～ ※各日 限定先着 400枚

■販売場所:GPレセプション およびセンターハウス ■料金:8月31日(土)・9月1日(日)各日1,000円

ピットウォークを開催(無料)

8月31日(土)・9月1日(日)ともにピットウォークを開催いたします。入場は無料(別途ゆうえんち入園料必要)。この機会に是非ご参加ください。

■開催日時:8月31日(土)12:45～13:35/9月1日(日)12:00～12:25

■入場無料(別途、入園料は必要となります)

※ピットウォークはレースの進行状況により時間短縮または中止の場合がございます。

2013 ASIAN 2&4 RACE開催概要

■大会名称:2013 アジアン2&4レース

2013 PETRONAS アジアロードレース選手権シリーズ 第4戦

2013 CJハロービジョン スーパーレース チャンピオンシップ 第5戦

■開催日:2013年8月31日(土)予選・9月1日(日)決勝

■主催:(2輪)一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会(MFJ) / 株式会社モビリティランド
(4輪) 鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC) / 株式会社モビリティランド

■公 認:(4輪)一般社団法人日本自動車連盟(JAF)

■大会主催:株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット

■後 援:観光庁 / 三重県 / 鈴鹿市 / 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会 /
一般社団法人 鈴鹿市観光協会 / 鈴鹿商工会議所